

松島町桃の里づくり ～桃源郷を目指して～

松島町高齢者活躍の場創生協議会（土井清会長59）では、遊休農地解消対策の一環として根廻地区で、桃の品種の一つである「あかつき」の苗木約200本を、同町シルバー人材センターより派遣された、皆さんの力を借り3月下旬に定植した。

順調に成長し4月下旬には、綺麗なピンクの花を咲かせた。



3年後の根廻地区の桃の里づくりを目指している。

定植した「あかつき」は、国内で最も多く生産されている品種であるが、昭和27年に試験栽培された当時は、病害虫が原因でほとんどの県で栽培を断念し、唯一福島県だけが栽培を続けた品種である。

桃の中では品質がトップクラスと言われ、今では福島県の特産の一つとなっている。

松島町のヘソにあたる根廻地区では、約50年前にも桃の植栽が行われたが、現在ではほとんど見られなくなった。

この度、創生協議会で6戸の農家が遊休農地の解消と、約1ヘクタールの桃園で桃の里作りを夢に描きながら、挑戦することになった。

3年後には、たくさんの桃の実を实らせることを願い各農家が、切磋琢磨して栽培に励んでいる。